料金別納
郵　便

次代を創る

2020.3
第13号

発行
中塚周一事務所
〒713-8125 倉敷市玉島勇崎1044-4
TEL 086-528-0319
印刷 ㈱玉島活版所

中塚周一県政ジャーナル

ブリッジ ― 地域と県政を結ぶ架け橋 ―

BRIDGE

ごあいさつ

昨年は、新天皇陛下のご即位があり、元号も「令和」に改められ、新たな時代が幕を開けました。平和で輝かしい時代への期待感が高まっているものと思います。

さて、昨年4月の岡山県議会議員選挙において4期目の当選をすることができました。議員としては中堅的な立場であり、これまで取り組んできた政策をさらに前進させる行動力が求められるものと考えています。4期目の初年度は、県監査委員の役職をいただいたり、また、新たな議員連盟の立ち上げもすることができました。期数を重ねることで与えられる職責と求められる役割を受けとめながら、その責任をしっかりと果たしてまいりたいと存じます。

ご支援いただいた皆様のご期待に添えられるよう一層精進してまいりますので、今後とも皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

岡山県議会議員　**中塚周一**

Create the Next Generation

令和元年度11月議会 一般質問

令和元年6月、新たな認知症施策推進大綱が関係閣僚会議で決定し、認知症の人が暮らしやすい社会を目指す「共生」と発症や進行を遅らせる「予防」の二本柱が目標に掲げられました。団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年には、認知症の人は約730万人に達し、高齢者の5人に1人となる見込みとなっています。認知症は、誰でもなりうるものであり、まさに我がこととして対策に取り組んでいかなければなりません。

そこで、令和元年11月（～12月）県議会では、テーマを「認知症」一本に絞り質問しました。（誌面では、抜粋を紹介します。）

質問項目

①認知症行方不明者について
（1）所在確認数
（2）早期発見対策
　ア 広域連携の強化　　イ 公共交通事業者への対応

②認知症予防の推進について
（1）軽度認知障害　（2）通いの場の整備
（3）介護予防･日常生活支援総合事業　（4）課題等

③認知症を支える人材の確保・育成について
（1）医師の養成
（2）介護人材の確保
　ア 現状認識等　　イ 外国人材の活用

④認知症の方を支える地域づくりについて
（1）成果等　（2）啓発等

2019年

4月	5月												6月							7月									
7日	6日	9日	15日	16日	20日	21日	24日	25日	27日	28日	30日	31日	2日	10日	19日	21日	22日	25日	28日	3日	4日	6日	8日	10日	12日	16日	18日	19日	22日	25日
岡山県議会議員選挙 4期目当選	岡山県護国神社戦没者春季慰霊大祭	岡山県議会全員協議会	岡山県水防協議会	岡山県議会臨時会	備中県民局管内事業説明会・自民党青年局×理容組合青年部懇談会	文教委員会・監査委員協議会	自民党全国青年部青年局合同会議研修会	→	監査委員各部局説明	→	文教委員会・監査委員各部局説明	倉敷市期成会合同総会	自民党岡山県連合同会議	岡山県議会6月定例会・がん対策議員連盟	書道議員連盟総会	湯郷ベル県議会サポーターズ総会	社会福祉政治連盟総会・看護連盟総会	スポーツ振興議連総会・岡山米子線4車線化議連総会・国道2号線整備促進議連総会	JR伯備線高速化協議会・くだもの推進議連総会・監査委員協議会	岡山県議会定例会閉会・森林林業活性化議連総会	監査委員監査	7月豪雨災害追悼式	監査委員監査	監査委員監査	監査委員監査	文教委員会・安全安心議連総会・監査委員監査決算審査	監査委員監査	監査委員監査	文教委員会県外調査	→

▲当選

▲当選証書付与

▲玉島剣道大会

▲玉島みなと朝市挨拶

▲建労玉島支部定期大会

1 認知症行方不明者について

Q 公共交通事業者への対応

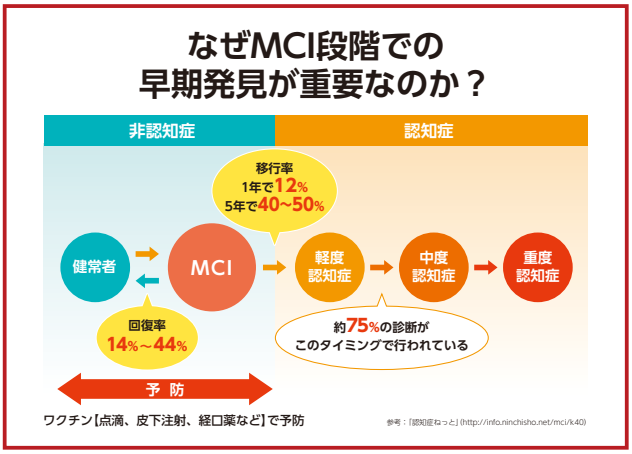
認知症施策推進大綱では、「共生を広げる新たな施策として、鉄道やバスなど一定の規模以上の公共交通事業者に対し、認知症の人を含む高齢者などへの対応や、研修のあり方を含む計画の作成と取組状況の報告・公表を義務付ける。」とされているが、公共交通事業者に対し、どう対応するのか。

A 認知症の人を含む高齢者が安全・安心に外出できる環境を確保するためには、従来のハード面の整備に加えて、接遇などのソフト面での対応が重要であると認識している。公共交通事業者を対象にしたサポーター養成講座を開催することとしており、認知症の人への正しい理解と知識が深まるよう取り組んでいく。

2 認知症予防について

軽度認知障害

Q 軽度認知障害（MCI）は、認知症に至っていない記憶障害で、放置すると5年間で約50％の人が認知症へ移行するとされ、適切な投薬・治療などにより、14～44％で進行を遅らせ、又は阻止することができる。MCIは、血液検査やPET等で診断ができるため、意識啓発や、健康診断の義務付けなどを検討してはどうか。



A 認知症予防のためには、働き盛り世代からのバランスの取れた食生活や、運動習慣の定着、健診の受診などが重要である。今後とも、保険者等の関係団体と連携し、生活習慣病の重症化予防の取り組みとともに、軽度認知障害に関する周知を進め、すべての県民が、健康で生きる喜びを感じられる長寿社会の実現を目指していきたい。

3 人材確保等について

介護人材の確保

Q 現状認識等

第7期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画によると、2025年には、介護人材が4,109人不足すると推計している。本県の介護人材の人手不足をどう現状認識しているのか。また、人材不足の解消に向けた様々な取組の状況と成果についてはどうか。

A 県内の介護サービスの有効求人倍率は約4倍と、全職種平均の約2倍と比べ、極めて高くなっており、深刻な人手不足の状況であると認識している。

取組の状況と成果については、福祉人材センターでの職業紹介や、再就職支援セミナー等を通じ、3年間で約350人を就職に結びつけるとともに、仕事の悩み相談・出張講座など離職防止にも取り組んでいるところであり、引き続き、関係機関や関係団体と連携しながら、介護人材の確保に努めてまいりたい。

Q 外国人材の活用

介護人材を幅広く獲得するため、外国人材への期待も高まっている。国は、「介護福祉士国家資格の取得を目指す外国人留学生等の受入環境整備事業」を昨年度創設した。県内には介護福祉士養成校が多数あり、今後の介護人材不足を解消する手立てとして、こうした事業の活用を前向きに検討すべきだ。

A 外国人材の活用について、これまで、EPAで入国した外国人や、留学生に対し、日本語や専門知識の学習支援を行っている事業所・養成施設への補助事業などを実施してきたところである。

	8月	9月	10月
26日	監査委員監査		
30日	文教委員会県内調査		
1日	監査委員監査		
4日	いばらぎ隆太飛翔の集い		
5日	文教委員会県内調査		
6日	→		
7日	監査委員監査		
9日	文教委員会		
19日	監査委員監査		
21日	監査委員監査		
23日	社会福祉議連×社会福祉法人経営協懇談会		
26日	周レディースクラブ幹部会		
29日	文教委員会		
30日	決算特別委員会（監査委員出席）		
31日	周レディースクラブ幹部会		
3日		天皇陛下御即位岡山県奉祝委員会設立総会	
9日		岡山県議会9月定例会・県政広報テレビ収録	
19日		→ 国体選手団壮行式	
25日		神道議員連盟講演会	
26日		→ 社会福祉議連×保健福祉部意見交換会	
3日			岡山県議会定例会閉会
7日			外国人材支援調査（外務省・在日ミャンマー大使館）
8日			監査委員監査
9日			監査委員監査
10日			中塚周一杯ゴルフ大会
11日			倉敷市戦没者追悼式
15日			文教委員会
17日			監査委員監査
18日			監査委員監査
21日			監査委員監査
23日			監査委員監査
25日			監査委員監査
28日			社会福祉議連×社会福祉法人経営協懇談会
29日			監査委員監査
31日			監査委員監査

▲消防団操法大会出場

▲周レディース倶楽部幹部会

▲天皇陛下御即位奉祝行事

▲周一杯ゴルフ大会

介護人材の確保は、依然として厳しい状況であることから、ご提案の国の事業の活用も検討しながら、外国人材の受入環境の整備に積極的に取り組んでまいりたい。

4 地域づくりについて

成果等

Q 認知症施策推進大綱では、「共生のために認知症の人本人からの発信の機会も増やす。認知症本人大使を創設するなどし、地域で暮らす当事者とともに認知症の啓発に力を入れる。」とあるが、認知症の方を支える地域づくりの成果と今後の展望について、所見を伺いたい。

A 成果等についてでありますが、市町村や関係団体との連携のもと、養成された認知症サポーターは18万人を超え、地域住民との交流の場である認知症カフェも23市町村で100か所以上となるなど、認知症の人やその家族への支援の輪が地域に広がりつつあると認識している。

認知症に対する正しい理解が世代を超えて広がるよう、子どもや学生を対象としたサポーター養成講座の開催を働きかけるとともに、認知症当事者が自らの体験などを率直に語り合う本人ミーティングの開催などを検討したいと考えている。

また、今後、各種媒体を活用した広報活動を行うこととしており、若者をはじめとした幅広い世代への普及啓発を強化してまいりたい。

TV番組「みんなの岡山県議会」（TSC：テレビせとうち）に出演しました

「岡山の魅力発信」をテーマに、「観光誘致や企業誘致」、「豪雨災害からの復興と元気な岡山の発信」、「人を呼び寄せる地域づくり」などについて、玉島ハーバーアイランドをはじめとした産業団地の動きや被災地での復旧復興の動き、また、玉島穂井田地区で進められているまちづくり計画などをお話させていただきました。

＊岡山の魅力というテーマにあわせて男性陣は、それぞれ地元の倉敷、浅口、井原のデニムスーツで揃えました。

岡山県議会で高校生議会を開催

令和元年12月17日、岡山県議会本会議場で高校生議会を開催しました。県内各地から20校127名の高校生が参加し、バリアフリー化促進や少子化対策など活発な質疑が行われました。こうした機会により、県政や県議会への理解と関心が高まればと思います。

※倉敷市内からの参加校
（玉島高校、倉敷青陵高校、倉敷天城高校、倉敷鷲羽高校）

西日本豪雨災害チャリティゴルフ大会開催

令和元年10月10日、中塚周一杯ゴルフ大会を開催しました。前年に引き続き、平成30年7月豪雨災害復興チャリティーコンペとし、参加者の皆様のご厚志により95,000円の義援金が集まり、宮尾真一 実行委員長より倉敷市社会福祉協議会へお渡ししました。

2020年

月	日	内容
11月	1日	監査委員監査
	6日	監査委員監査・監査委員協議会・外国人材支援調査
	10日	→
	12日	都道府県議会議員研究交流大会
	14日	議員年金加入全国大会・地方議会活性化シンポジウム
	15日	文教委員会・がん対策議連勉強会・各種団体予算陳情
	18日	倉敷市市政懇談会
	20日	天皇陛下御即位岡山県奉祝事業
	21日	文教委員会・さわらの会総会
	26日	中塚周一杯グラウンドゴルフ大会
	27日	決算特別委員会（監査委員出席）
	28日	岡山県議会11月定例会・政友会財政勉強会
12月	6日	→ 外国人材支援議連設立準備会
	10日	倉敷駅連続立体推進議連総会・北朝鮮拉致解決議連総会
	12日	外国人材留学生支援推進議連発足総会
	17日	文教委員会・監査委員協議会
	20日	岡山県議会定例会閉会
1月	15日	文教委員会・監査委員協議会
	20日	監査委員監査
	24日	文教委員会・外国人材支援議連×中小企業団体中央会懇談会
	27日	監査委員監査
	29日	監査委員監査
2月	4日	文教委員会・自民党×看護連盟交流勉強会
	7日	予算総括協議会
	14日	文教委員会・監査委員監査
	25日	岡山県議会2月定例会・介護福祉士養成施設協会陳情受け
3月	6日	→ 作業療法士議員連盟総会
	10日	外国人材留学生支援議員連盟勉強会
	16日	監査委員協議会
	19日	岡山県議会定例会閉会

▲ミャンマー・ヤンゴン管区ピョー ミン ティン首相と会談

▲周一杯グラウンドゴルフ大会

▲障がい者施設成人式・還暦式

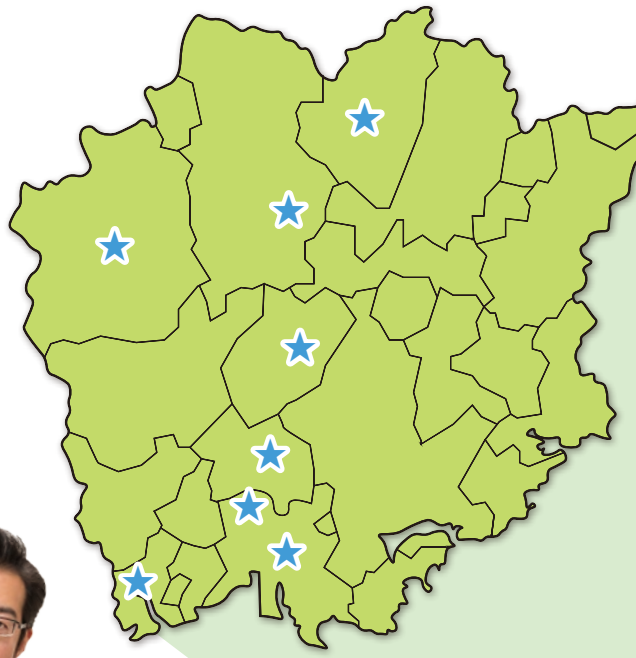
▲ベトナム・ホーチミン市国防省175病院 ソン院長と会談

走り続ける中塚周一

次代の岡山をつくるために

委員会視察

文教委員会県内調査



吉備高原学園高等学校
新設されるマンガ・アニメーションコースをはじめ多彩な専門コースと寮生活により自立と個性を大切にしたプログラムを有し、近隣県からも多くの学生が通う。

勝間田高等学校
おかやま創生高校パワーアップ事業により、美作桧を使った木製品の開発やワサビ田の復活プロジェクトに取り組むなど地域振興を担う人材を育成している。

勝山高等学校
持続可能な地域社会を支える人材の育成として、県北地域勤務を見越した教員養成に取り組んでいる。

笠岡工業高等学校
環境土木科では、ドローンを使った最新技術の習得を行っており、建設業界で活躍できるスペシャリストの養成を行っている。

岡山県立大学
保健福祉、情報工学、デザインの実学を重視した3学部で編成され、地方自治体等との連携など県立学校らしい教育カリキュラムを展開している。

大橋家住宅
倉敷窓・倉敷格子など重厚な造りが印象的で国の重要文化財にも指定されている。後世への保存と同時に、旧家としての魅力の活用が進められている。

倉敷まきび支援学校
平成30年7月豪雨での被災状況と復旧・復興の現状について視察した。

津山市立鶴山中学校
学力学習状況調査結果を分析し、授業改革推進リーダーにより家庭学習時間の可視化や定着の工夫などを重ねて学力向上に取り組んでいる。

外国人材・留学生支援推進議員連盟を発足。会長に選任。

県内企業の人手不足の解消を狙いに外国人材や留学生をサポートする議員連盟を発足し、会長に選任されました。言語や生活習慣の違いなど外国人を受け入れる際の課題、また、送り出し側の不安などについて、企業や学校、関係機関などと意見交換し、解決に向けた支援策を提言していきたいと考えています。

日本･ミャンマー医療人育成支援協会 岡田理事長会談

岡山大学を中心としたミャンマー人の医療職育成支援の取り組みについて伺う。

駐日ミャンマー大使会談

技能実習制度などミャンマーとの関係強化や課題などについて意見交換した。

文教委員会県外調査

札幌開成中等教育学校

外国語授業の実施をはじめとした国際バカロレアの教育プログラムにより、多様な文化の理解と尊重の精神を醸成している。

北海道有朋高等学校

離島や小規模校に向けてICTを活用した遠隔授業の実証研究を行っており、思った以上にスムーズな授業が実現できている。

おといねっぷ美術工芸高等学校

北海道一小さな村の高校は、廃校の危機を美術工芸に特化し、高大連携事業やスウェーデンの高校との提携などにより入学希望者が増加する魅力ある学校へと生まれ変わっている。

豊富温泉湯治留学

人口減少に悩む豊富町では、アトピー性皮膚疾患に効く温泉があり、湯治留学体験支援制度の創設により全国から児童生徒が湯治留学に訪れており、中には移住された方もいる。

稚内市教育委員会

稚内市役所と稚内市北方記念館でアイヌ文化の理解と人権教育についての説明をいただいた。

TOKYO GLOBAL GATEWAY

東京都教育委員会と株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する体験型英語学習施設で、子どもたちが病院、薬局、レストラン、旅行代理店、飛行機内など、様々なシーンでミッションが与えられネイティブのスタッフと実践的な英会話を楽しみながら英語学習の意欲向上ができる。

板橋区教育委員会

板橋区教育委員会では、すべての教科に関わる基礎的･汎用的な能力である「読み解く力」を育成に力を入れることで学力向上に成果を出している。

中塚周一ホームページ

県政の動き等を素早くお知らせしています。
皆様からのアクセスお待ちしています。

http://nakatsukashuichi.com/

●後援会事務所（玉島勇崎1044-4）には統括･内田光則が常駐しています。
ご連絡は　電話086-528-2244
●この「ブリッジ」について　ご意見、お問い合わせは後援会事務局　編集長　虫明正雄まで